

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	教育庁 高校教育課	田川 耕太郎
施策名	4 キャリア教育の推進と企業を支える人材の育成・確保	事業群関係課(室)	義務教育課、未来人材課	
事業群名	③ キャリア教育の推進	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額 81,893	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画テェンジ&チャレヅ2025 本文)		(取組項目)							
子どもたちが社会や職業との関連を意識しながら主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、望ましい勤労観、職業観を育成していくことができるよう、発達段階に応じたキャリア教育・職業教育の充実を図ります。		i) 児童生徒の発達段階に応じた「夢・憧れ・志」を育む教育の推進 ii) インターンシップ活動等の体験的な学習活動の充実 iii) 地域の課題を解決する職業体験学習等により地域を担おうとする人材を育む教育を推進 iv) 大学卒業後の県内定着を支援するために進学希望者の多い普通科高校において県内企業説明会を実施 v) 県内企業やふるさと教育に対する教員の理解の深化							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	県内企業におけるインターンシップ体験が自らの職業観や勤労観について考えるうえで役に立ったと回答した高校生の割合	目標値①	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上維持(R7)	
		実績値②	97.8%(H26~30平均)	98.7%	98.6%				
達成率②/①		100%	100%					順調	
令和3年度は、41校2,200人がインターンシップを実施したのに対し、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をしながら、48校3,041人が実施することができた。また、インターンシップ体験が自らの職業観や勤労観について考えるうえで役に立ったと回答した高校生は、令和3年度は98.7%だったものが、令和4年度は98.6%とほぼ横ばいであった。今年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類へと引き下げられ、昨年度以上の実施校がある見込みのため、引き続き関係企業と協議しながら実施を検討していきたい。									

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等		
				R3実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率	
取組項目 i	○	1	ふるさとの新たな魅力を創出するキャリア教育実践事業	2,880	518	7,790	7市町9中学校を拠点校として指定し、学校と行政機関、市町まちづくり担当部局、地元企業等が連携・協働しながら、地域の活性化や課題解決を目指す探究的な学習プログラムを開発し、実践した。各指定校の取組を動画にまとめるとともに、指定校へのアンケート結果を、これから実践に取り組む学校のためのアドバイスメ集にまとめ、それぞれ県公式ウェブサイト公開し、周知した。		【活動指標】	9	11		122%
				2,548	332	7,653		公開授業を行った学校数(校)	9	9	100%		
			事業実施の根拠法令等			—		—	【成果指標】	40	97	242%	
			事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業				他の評価対象事業(公共、研究等)	地域の発展や地域的課題の解決に向けて探究的な学習を行っている学校数(校)	80	108	135%
			(R4終了)R3-4										
			義務教育課	—	—	—	公立中学校の教員・生徒						

取組項目 i	○	2	小中高が一体となったふるさと教育推進事業				5市の小中学校12校を拠点校として指定し、ふるさとを舞台に地域の魅力を小学校から中学校まで学ぶ系統的なカリキュラムと高等学校との連携・協働の在り方を含めた体制づくりについて研究を進める。	【活動指標】 市町教育委員会への指導訪問(校)				—
				8,884	4,926	12,346		【活動指標】 研究指定地区における成果発表会の回数(回)	21		5	
				—				【成果指標】 地域の発展や地域的課題の解決に向けて探究的な学習を行っている学校数(校)			120	
			(R5新規)R5-6					【成果指標】 ふるさとの魅力を知り、ふるさとのために役立つことを考えることができた児童生徒の割合(%)				
			義務教育課	—	—	—	公立小・中学校の児童生徒及び教職員		75			
取組項目 ii	○	3	高校生のためのふるさと長崎就職応援事業	63,717	63,717	9,348	就職希望者が多い高校にキャリアサポートスタッフ(CSS)を配置し、生徒や保護者に対して県内企業の魅力を情報提供するとともに、学校内での企業説明会、インターンシップの支援等を実施することで、県内企業への就職を支援した。	【活動指標】 就職希望者数あたりの生徒面接指導回数(回/人)	1.8	2.2	122%	●事業の成果 ・CSSによる面談等をきめ細かに実施し、県内企業の情報提供や相談対応などに取り組んだ結果、公立高校生の県内就職割合は67.4%と高い水準を維持することができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・公立高校の県内就職率を高い水準を維持したことにより、県全体の県内就職率の目標達成に寄与した。
				62,145	62,145	9,184		1.8	2.2	122%		
				65,041	65,041	9,259		1.8				
				—				【成果指標】 公立高校生の全就職者に対する県内就職者の割合(%)	65%以上を維持	69.9	100%	
			H28-R7					65%以上を維持	67.4	100%		
			未来人材課(高校教育課)	—	—	—	県立学校(高等学校・特別支援学校)の生徒	65%以上を維持				
取組項目 iii	○	4	キャリア教育・産業教育指導費	10,292	8,985	9,348	産業界の変化に対応できる人材の育成等を旨とするため、企業・研究機関等から講師を招へいする産業エキスパートセミナーや、GAP教育に対する支援(農業)、現場研修やロボットコンクール等の技術・技能向上に対する支援(工業)、プレゼンテーション能力・課題解決能力向上に対する支援(商業)等を実施した。	【活動指標】 県立学校実施校数(校)	40	32	80%	●事業の成果 ・産業エキスパートセミナーで、「職業について考える機会になった」と答えた生徒の割合は92.4%と高かった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・社会や職業との関連を意識するきっかけとなっており、事業を通して生徒の職業観を醸成し、生徒の進路選択に寄与している。
				11,515	9,923	8,418		40	35	87%		
				13,226	11,358	8,488		40				
				—				【成果指標】 人生観・職業観の育成(%)	95	94.6	99%	
								高校教育課	—	—	—	
								95				
取組項目 v		5	長崎の未来を創る ワクワク産業教育実践事業				(1)先端企業教員研修事業 企業等と関わりながら、充実した探究活動等の実践につなげるよう、先端技術や独自の技術を持つ企業や研究機関等で教員研修の実施を支援した。 (2)AIC(農工商)連携ネットワーク構築事業 次代の産業へ柔軟に対応できるような幅広い知識・技術を習得させるために農業、工業、商業等の高校が連携し、協働型の探究学習を展開することでできるよう支援した。 (3)SOUGO(総合学科・相互)産業ネットワーク構築事業 県立の総合学科として学びの幅を広げ、多様化する生徒の学びのニーズに対応するために、複数校がICTを活用しながら合同授業を試し、単位認定を目指して研究を深め、将来的には合同授業を教員の負担軽減につなげる。	【活動指標】 先端企業等への参加人数(人)				●事業の成果 ・地元の先端企業や研究機関との関わりを持つことで、教員のスキルアップと今後の授業において実践につなげる研修となった。 ・他校種と連携をすることで、生徒たちが幅広い知識や技術を身に付け、協働で学ぶ良い機会となった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・コロナ禍で関係機関との調整が難しかったため目標人数には達しなかったものの、教員が関係機関で研修をさせていたこと、今後も課題研究等でスムーズに連携が行われることが期待される。また、地元の先端企業を知る機会を創出することで、就職希望者の県内定着に寄与している。
				1,287	674	5,357		15	9	60%		
				4,004	2,100	5,401		15				
				—				【成果指標】 公立高等学校専門学科(農業、工業、商業、水産、情報、家庭、看護、福祉)の就職内定者に占める県内の割合(%)	59	64	108%	
								高校教育課	—	—	—	

取組項目 iv v	○	6	長崎発 未来の創り手 育成プラン	3,605	684	10,127	【活動指標】 長崎を元気にするアイデアコンテストにおいて、活動した学校数(校) 【成果指標】 アイデアコンテスト参加校において、地域課題を解決し、将来、ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まった生徒の割合(%)	20	20	100%	●事業の成果 ・地元の行政機関や事業所などと連携し、地域活性化に向けた取り組みを行ったことで、多くの生徒達が、将来ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・各機関との連携の実績ができたことで、今後の連携がスムーズに行われ、また、参加校の教諭の指導スキルの向上も見込まれる。このことで、今後の他の取組への広がりや深まりが期待でき、社会に参画する力や課題解決に主体的に関わる資質・能力の育成につながっている。
				4,398	1,029	10,714		20	21	105%	
				4,156	2,131	10,031		20			
				H30-R5				85	100	117%	
			高校教育課	—	—	—	高校生	90	94	104%	
				—	—	—		95			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	児童生徒の発達段階に応じた「夢・憧れ・志」を育む教育の推進	●実績の検証及び解決すべき課題 全ての拠点校において、地域の商工会や企業、団体、行政機関と連携・協働し、地域の活性化や課題解決に向けた学習プログラムを実践することができた。地域の発展や地域的課題の解決に向けて探究的な学習を行っている学校数も108校となり、地域を舞台とした「夢・憧れ・志」を育む教育が充実してきている。今後はこうした取組を、小中高と系統性のあるものとする必要がある。	●課題解決に向けた方向性 「小中高が一体となったふるさと教育」の推進に向けて、高等学校との連携も見据えた、小・中学校が連携・協働した地域ぐるみのふるさと教育の実現を目指す。
ii	インターンシップ活動等の体験的な学習活動の充実	●実績の検証及び解決すべき課題 令和3年度は、41校2,200人がインターンシップを実施したのに対し、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をしながら、48校3,041人が実施できた。今年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類へと引き下げられ、昨年度以上の実施校がある見込みのため、関係企業と協議しながら実施を検討していく必要がある。	●課題解決に向けた方向性 コロナ拡大前の令和元年度は、58校4,426人が参加しているが、コロナによる企業の受け入れ態勢に変化があるため、早めに企業と相談し、実施計画を立てる必要がある。現場での受け入れが難しい場合は、オンラインでの見学や職場説明会などを検討する。
iii	地域の課題を解決する職業体験学習等により地域を担おうとする人材を育む教育を推進	●実績の検証及び解決すべき課題 生徒がインターンシップや早期応募前職場見学に参加することで、企業の雰囲気や仕事内容を知る良い機会となった。また、複数の企業を比較することで、早期離職防止につながることを期待できる。県内内定生徒の企業訪問を実施することで、内定企業への就業前の不安を取り除くことができた。	●課題解決に向けた方向性 新型コロナウイルス感染症が2類から5類へと引き下げられ、コロナ禍でできなかった企業訪問やインターンシップ等が少しずつできるようになってきている。県内企業を知る機会を増やしていくよう可能な限り働きかける。
iv	大学卒業後の県内定着を支援するために進学希望者の多い普通科高校において県内企業説明会を実施	●実績の検証及び解決すべき課題 進学希望者の多い普通科高校4校で県内企業説明会を実施した。参加した生徒のうち97.8%が、地元企業の理念やそこで働く人の思いを知ること、自分自身の今後の生き方やキャリアについて考える機会となったと回答している。課題としては、過去の指定校で招致した企業で人気の高かった企業を中心に招致する傾向があり、企業にやや偏りが見られたことである。	●課題解決に向けた方向性 進学希望者の多い普通科高校では、実施指定年度を終えたのちも各校独自で説明会を継続している。各校の実績を他校にも広げつつ、学校が多様な企業を知る機会を作れるよう、関係部局とも連携して情報提供を行う。
v	県内企業やふるさと教育に対する教員の理解の深化	●実績の検証及び解決すべき課題 進学希望者の多い普通科高校4校で県内企業説明会に参加した教員のうち91.3%が、自分自身のキャリア教育(ふるさと教育)に対する理解が深まったと回答している。また、普通教科教諭による県内企業訪問(県内3地区)を実施し、県内企業への理解を深めた。課題としては、参加者が説明会実施対象の学年の教員に偏る傾向があることである。	●課題解決に向けた方向性 複数学年を対象に説明会を行う等、説明会に関わる学年を増やすことで参加する教員を増やすよう働きかける。また、主に若手教員を対象とした研修を通して、教員自身のアントレプレナーシップの醸成や、指導スキルの向上を図る。

4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名		令和5年度事業の実施にあたり見直し内容 ※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しがしない場合は「—」と記載	令和6年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間	所管課(室)名		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	2	小中高が一体となったふるさと教育推進事業 (R5新規)R5-6 義務教育課	R5新規	②	小・中学校及び高等学校や行政機関、関係団体との連携・協働に向けた体制整備を進めるとともに、各指定市において「小中高が一体となったふるさと教育」の実現に向けた系統的なカリキュラムづくりにかかる取組の工夫・改善を進める。	改善	
取組項目 ii	○	3	高校生のためのふるさと長崎就職応援事業 H28-R7 未来人材課(高校教育課)	未来人材課及び高校教育課職員がキャリアサポートスタッフ配置校を定期的に訪問し、生徒の就職希望状況や求人状況等の聞き取りを行い、県内就職促進に向けての情報共有や指導助言を行っている。	②	キャリアサポートスタッフと県内就職推進員との連携会議をもとに、効果が上がった取組について情報共有を行い、効率的かつ効果的な支援を行う。また、未来人材課及び高校教育課職員がキャリアサポートスタッフ配置校を訪問し、適切な助言を行うとともに、現状を把握し、実施内容を検討する。	改善	
取組項目 iii	○	4	キャリア教育・産業教育指導費 — 高校教育課	—	②	専門高校における産業教育では、プロジェクト研修支援や各種教員研修等を通し、専門性の向上を図り、全国的にも高い成績を残すことができている。一方、近年の技術の進展により産業界は著しく変化しており、変化に対応できる研修内容となるよう随時検討を行っていく。 また、人生の達人セミナーや産業エキスパートセミナーの実施においては、オンラインの積極的な活用を促し、未実施校がないよう各校に促す。	改善	
取組項目 iii v		5	長崎の未来を創る ワクワク産業教育実践事業 R4-6 高校教育課	昨年度は、先端企業教員研修事業、AIC(農工商)連携ネットワーク構築事業のどちらも年度途中の募集となったが、今年度は年度初めより応募し、より多くの先生方が研修に参加したり、他校との連携をしたりできるようにした。	②	先端企業教員研修については、研修をさせていただいた企業や研究機関と、今後も連携を継続できるよう推進する。 また、AIC(農工商)連携ネットワーク構築事業については、連携の成果を今後の活動に繋げるために学習内容の共有ができるよう推進する。	改善	
取組項目 iv v	○	6	長崎発 未来の創り手育成プラン H30-R5 高校教育課	地域課題解決や地域魅力化のための活動を高校生自ら計画し実行することで、起業家精神を持つ人材を育成することを目的とする「高校生アントレプレナーシップゼミ」では、参加生徒による新規ビジネスプランの提案だけでなく、起業家や企業、行政機関等と連携しながら提案されたビジネスプランの実装に向けて取組を進めていく。	①②	より多くの生徒・教員が起業家教育に触れる形式へとブラッシュアップしながら、より多くの学びの機会を創出していく。また、引き続き産業界と連携しながら、アイデアの創出にとどまらず、実装に向けた取組の段階へと高めていく方法について検討する。	改善	

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せていないか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点